

用語解説

本文中で「*」を記した語句を解説しています。

語 句	意 味
英数字	
E S C O事業	Energy Service Company の略。省エネと光熱水費の削減をユーザーに保証し、削減方法の提案から改修工事、工事後の削減効果の検証までを一貫して行う事業
I C T	情報処理及び情報通信に関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称
P P P	Public Private Partnership の略。官民連携により公共サービスを実施する手法
U A V	人が乗ることができない飛行機、回転翼航空機等であって、遠隔操作または自動操縦により飛行させることができるもの。いわゆるドローン（マルチコプター）、ラジコン機等をいう。
あ行	
アセットマネジメント	施設管理におけるアセットマネジメントは、施設の状態を評価し、適切な維持管理を行うとともに、ライフサイクルコストや中長期的な事業量の平準化などを勘案しつつ、計画的かつ効率的に資産を管理する方法
アンカー工 塩害	不動態盤内に定着させた鋼材の引張力により移動土塊を安定させる対策工 コンクリート中に塩分を含んだ水が浸透し、鋼材が腐食・膨張して、コンクリートにひび割れ・はく離などの損傷を生じさせる現象
か行	
外郭施設 海溝型地震	港内の静穏度確保及び船舶航行の安全を図るために設ける堤防などの施設 海のプレートが海溝で沈み込むときに陸地のプレートの端を巻き込み、やがて、巻き込まれた陸のプレートの端が反発し、跳ね上がることによって起こる地震
海上公園	都民が海や自然とふれあい、レクリエーションを楽しめる場として、埋立地に公園として整備したもの
行政的医療	①法令等に基づき対応が求められる医療 ②社会的要請から特に対策を講じなければならない医療 ③新たな医療課題に対して先導的に取り組む必要がある医療

語 句	意 味
緊急輸送道路	高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線的な道路並びにこれらの道路と知事が指定する拠点（指定拠点）とを連絡し、又は指定拠点を相互に連絡する道路
空港機能施設	ターミナルビル、給油施設などの施設
空港土木施設	滑走路、誘導路、空港内道路などの施設
溪流保全工	大雨等の流水による溪岸や川底の侵食を防止する対策工法
航空保安施設	航空保安無線施設、航空灯火、昼間障害標識などの施設
公社病院	都が施設を保有し、都の監理団体である公益財団法人東京都保健医療公社が運営している病院
更生工法	既設の下水道管の内面を被覆することにより、既設下水道管を更生する工法
高度道路交通システム	最先端の情報通信技術により、人と道路と車両との間で情報をやりとりし、事故抑制や渋滞の軽減等を目指す交通システム
港湾環境整備施設	海浜、緑地、広場、植栽、休憩所などの港湾の環境整備のための施設
個別施設計画	個別施設ごとの維持管理に関する計画や長寿命化計画など
さ行	
砂防堰堤	土石流が流れてきたときに土石流を止めたり、土石流の勢いを弱める対策工
遮熱性舗装	路面温度を上昇させる原因である赤外線を反射する遮熱材を路面の表面に塗布した舗装。舗装への蓄熱を防ぎ、路面温度の上昇を最大で8℃程度抑制する。
政策連携団体	事業活動範囲が主に都内であるもの又は事業活動目的が主に都内の発展に寄与するものであり、かつ、都が展開する政策の一端を担うなど、主体的に都と事業協力を行う団体であって、「東京都政策連携団体の指導監督等に関する基準」において定める要件を満たす団体のうち、都と協働して事業等を執行し、又は提案し、都と政策実現に向け連携するなど、特に都政との関連性が高い団体で、全庁的に指導監督を行う必要がある団体
た行	
中性化	通常、アルカリ性であるコンクリートの内部に、二酸化炭素が表面から侵入し中性化することで、鋼材が腐食・膨張して、コンクリートにひび割れ・はく離などの損傷を生じさせる現象
長周期地震動	長周期地震動とは、揺れの周期が長い（2秒から20秒）波を多く含む地震動で、ゆっくりとした揺れが長く続く特色がある。超高層建築物等では、共振により構造安定性などへの影響が指摘されている。

語句	意味
東京都技術会議	都政の重要かつ緊急な課題に対し、技術的側面から意見交換を行うとともに、技術水準の維持向上及び技術職員の確保・育成・活用等のあり方等について調査・検討を行う会議
東部低地帯	都の東部において、地盤高が低く、高潮による浸水のおそれがある地域（おおむね A.P. + 5 m 以下）。地域としては、おおむね JR 京浜東北線以東であり、大半の地域が平均満潮位以下の「おおむねゼロメートル地帯」（おおむね A.P. + 2 m 以下）を含む。A.P. は、Arakawa Peil（荒川工事基準面）の略。
都市再生ステップアップ・プロジェクト	民間活力を導入し、地区特性に応じ複数の公有地を一体的に活用するとともに、周辺開発を誘発し、まちづくりを促進する事業
都有施設だより	本方針に基づき、施設の計画的な維持管理の必要性等に焦点を当て、都民の皆さまのご理解を深めていただくことを目的に発行
都有財産利活用推進会議	都有財産の主たる部分を構成する土地・建物について、長期的・全庁的視点に立ち、局の壁、会計の壁を越えて効果的、効率的な運用を図るために設置された、都有財産の利活用を具体的継続的に推進する会議
な行	
のり 法枠工	斜面上に格子状のモルタル・コンクリートを造成し、斜面の安定を図る工法
は行	
非破壊検査	対象を破壊せずに、内部の傷や表面の傷あるいは劣化の状況を調べ出す検査技術
普及概成	普及概成とは、下水道の人口普及率が 99.5% 以上となっている状況
防潮堤	津波や高潮等から背後地を防護するための施設
保水性舗装	隙間の多い舗装に、水を吸い込み保持する保水材を詰めた舗装。保水材に浸み込んだ雨水が蒸発する時の気化熱によって、路面温度の上昇を最大で 10℃ 程度抑制する。
や行	
有形固定資産減価償却率	償却資産の取得価格等に対する減価償却累計額の割合。資産の減価償却がどの程度進んでいるかを指標化することにより、その資産の経年程度を把握することができる。
ユニバーサルデザイン	年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、始めからできるだけ多くの人が利用可能なように、都市や環境をデザインすること。
ら行	
ライフサイクルコスト	構造物等を取得・使用するために必要な費用の総額で、企画・設計から維持・管理・廃棄に至る過程で必要な経費の合計額を指す。
陸こう	防潮堤と道路や通路が交差し、防潮堤を連続させられない箇所に設ける防潮機能を有する開閉式の陸上ゲート